

株式会社mediVR

<https://www.medivr.jp/>

VR等の技術を応用した医療機器、
医療システムの企画、開発及び販売



会社の特徴、事業概要

mediVRは、Virtual Reality(VR)技術を応用したリハビリテーション用医療機器の開発に取り組むベンチャー企業。同社の開発する「mediVRカグラ」は、VR技術を用いて姿勢バランス制御および二重課題型の認知機能を定量的に測定できる医療機器。ゲームを楽しみながら自然と正しい方法でリハビリに取り組むことができるため、リハビリの定量化が可能になるという強みを有している。既に複数の医療機関で導入が進んでおり、「遊んでいるうちに勝手に治っていった」というリハビリ治療の未来像をイメージして更なる商品開発を進めている。

現在背景がシンプルで認知負荷が低い「水平ゲーム」と「落下ゲーム」、ゲーム注意障害を惹起するよう認知負荷性を高めた「水戸黄門ゲーム」「野菜ゲーム」「果物ゲーム」の5種類が用意されている。

大阪大学との関係

代表者である原氏は、大阪大学大学院医学系研究科修了後、大阪大学医学部附属病院未来医療開発部での勤務を経て、同社を創業。大阪大学での研究成果である特許を基に、事業を展開している。

「mediVRカグラ」は経済産業省主催のジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト2018では最高位となるグランプリを受賞、2019年2月にはPMDA(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)にクラスI医療機器としての届出が受理された。



本社所在地 大阪府豊中市寺内2丁目4番1号 緑地駅ビル3階 株式会社mediVR 本部オフィス

代表取締役 原 正彦

設立 2016年6月